

たまなし (広報たまな特別号) 笑顔(♡)宅配便 2021



待機児童0達成!



マラニックコースを走ってみよう!



ふるさと納税30倍!?

市の取組を
紹介します



電子版はコチラ!

平成30年12月策定

笑顔をつくる

10年ビジョン概要

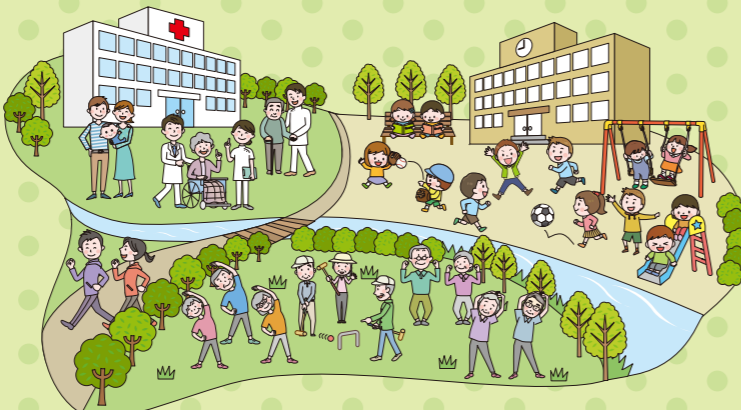
最終目標 “市民の笑顔が人を呼び込むまち”

すべての市民が笑顔で暮らせるまちが一番。市民の笑顔をつくり、市民の笑顔を守ることを第一に考え、長期的視点で施策を推進します。そして、その笑顔が魅力となり、多くの人が集い、訪れ、住みたくなるまちづくりに繋がります。



市民生活の安定

子どもたちは楽しそうに遊び、学ぶ。保護者は子どもたちの笑顔を見ながら、安心して子育てができる。そして高齢者は、住み慣れた地域で生きがいをもって暮らせる。そんな日常の中で、子どもから高齢者までのすべての市民が、こんな玉名での生活に魅力を感じ、充実感と安心感の中で笑顔で暮らせるように、多様なニーズに対応した様々な市民サービスの提供と生活環境の整備を図り、住みよいまち、住みたいまちの実現を目指します。



安心子育て環境づくり

- 働くパパママを応援
- 経済面で子育てを支援
- 安全・快適に楽しい学校生活を
- 未来を生き抜く力を育成

みんなの生活を守る福祉のまちづくり

- 元氣な暮らしをいつまでも
- 住み慣れた地域でいつまでも
- みんなが自分らしい生活を
- 自分に合ったサービスを

みんな安心健康づくり

- 日頃からの健康管理を
- 早期治療で重症化を防ぐ
- 「いざ」となっても安心
- 楽しみながら健康づくり

プロジェクト

魅力ある産業づくり

- 「強い!!」農水産業を確立
- 「賑わう!!」商工業のまち玉名へ
- 「新たな力」で活力を創出
- 「うまい!!」玉名産を全国へ

オンリー玉名!のまちづくり

- 豊富な素材を生かした観光振興
- 恵まれた地理的条件でまちづくり
- 新たな可能性で賑わい創出
- 音楽の都、スポーツの里へ

機能的な都市基盤づくり

- 大きな可能性を秘めた新玉名駅周辺の開発
- 市民生活の拠点を整備
- 安全で住みよい環境づくり
- 災害に強い都市へ



まちづくりの充実

雄大な自然の中で、大地と海の恵みを受けて安心・安全の農水産業を営む。長い歴史の中で築かれた商業のまちは、買い物客や観光客など多くの人で賑わう。市民は、そんな郷土に誇りを持ち、仕事にやりがいを感じ、夢と希望を抱いて働き、そして余暇には、地域の魅力を感じながら家族や仲間と笑顔で楽しむ。そんな地域社会を目指します。



市民のための行財政運営

- 未来を見据えた行財政運営
- 市民の期待に応える市役所へ
- 公共施設などの適正管理と有効活用
- 正確な情報をタイムリーに発信

地域内連携の強化

- 高校・大学の特性・専門性を行政運営に反映
- 官民の共創・協働によるまちづくり

広域連携の強化

- 市域を超えた取組の推進
- 様々な自治体と繋がる

プロジェクト

行政運営の進化

市役所は、健全な財政運営のもと関係機関、近隣市町などと連携し、夢と希望に満ちた施策を推進する。

職員は、市民との対話を大切に、広い視野と専門的な知識で市民のニーズに応える。

そんな市役所に信頼と親近感を抱き、市民の顔が安心感に満ちる。そして市役所と市民が手を取り合い、笑顔あふれるまちをともに創っていく。そのような行政運営を目指します。



市民の皆様へ

私は、平成30年12月に、多くの市民の皆様の希望や意見をもとに、10年後の本市の将来像を示した「笑顔をつくる10年ビジョン」を策定いたしました。その将来像の実現に向けた施策の推進に際しましては、ご協力を賜りました議会、各種団体、そして市民の皆様により感謝申し上げます。

この度、その取組状況をご報告するため、昨年に続き広報たまな特別号「たまなし笑顔宅配便2021」を発刊いたしました。コロナ禍により閉塞感が漂う状況が続いておりますが、市民の皆様を守ることを最優先に感染防止対策に努めながら、安心して暮らせる日常と活気溢れる地域経済の実現に取り組んでまいります。そして、市民の皆様を守るために、コロナの先も見据え、長期的な視点に立って10年ビジョンの推進を図ってまいりますので、引き続き、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



玉名市長 蔵原 隆浩

10年ビジョン年表

平成30年12月に策定した「笑顔をつくる10年ビジョン」。「市民の笑顔が人を呼び込むまち」の実現を目指し、これまでに様々な取組を実施してきました。これからも、最終目標の達成に向け、そして市民の皆さんの笑顔のために、各取組を進めていきます。

2027

市民の笑顔が人を呼び込むまち

SDGs (持続可能な開発目標)



玉名市はSDGsを推進しています。

2020~

市民生活の拠点 続々完成!

福祉サービスも 充実!



運転免許証 自主返納者への 支援スタート!

小児医療 24時間診療 スタート!

2019~

大河ドラマ 「いだてん」放送!

経済効果は 11.7億円!



全国へ 玉名を アピール!

多くの方と 繋がりました!



2018~

笑顔をつくる 10年ビジョン 策定 (~2027)

介護予防 「通いの場」 スタート!

子ども医療費 現物給付 スタート!

外来診療は 原則窓口 負担0へ



市民生活の安定



スマホで読み取ってね!

子育て

安心して産み、育てられる環境へ

学童保育の拡充

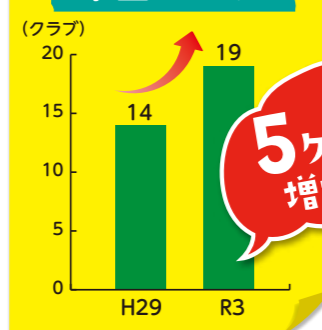


ママ・パパ安心して働いて!



いろんなことを学んでいるよ!

学童クラブ数



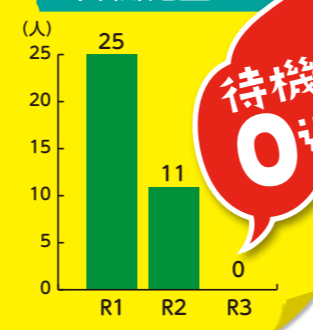
5クラブ増加!

今年度、玉陵小学校区に学童クラブを1クラブ増やし、市内の学童保育施設は19クラブとなりました。時代の変化とともに学童保育のニーズも年々高まっています。そのニーズをしっかりと受け止め、安全な環境で子どもたちの健全な育成に取り組み、保護者の皆さんが安心して働ける環境を整えていきます。

待機児童0を達成!



待機児童数



待機児童0達成!

平成27年度以降は毎年待機児童が発生していましたが、小規模保育事業の導入などにより受入可能な児童数を増やしてきた結果、令和3年度4月に待機児童数0を達成しました。これからも、保育施設と保育の質を確保し、子どもたちが健やかに育つための環境を整えていきます。

市独自の

一般不妊治療費一部助成

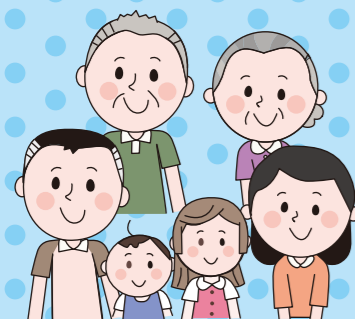
令和元年10月に開始した、一般不妊治療のうち人工授精に要する費用の一部助成について、創設以来20件以上の申請があっています。

子どもを産む方々の経済的な負担を軽減するなど、子どもを産み育てやすい環境づくりを進めます。



防犯カメラの設置支援

今年度、防犯カメラを設置する団体へ防犯カメラ1台あたり最大10万円を補助する制度を創設しました。この制度によって、「人の目」による見守りが行き届かない場所などへの防犯カメラの設置を支援し、死角がない安全で安心なまちづくりを進めます。



教育

安全・快適な環境で未来を生き抜く力を育みます

ICT教育を推進

教育環境の整備



タブレット5,400台の配備完了!

普通教室へエアコン設置済!



「学び合い」にもつながっています!

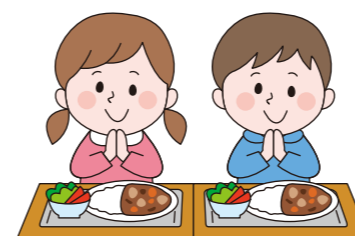
今年3月、児童・生徒1人1台のタブレット端末の配備が完了しました。これにより、学習方法や学習内容の幅が広がるとともに、必要な情報を収集し活用する能力の習得や多様性の中での協働的な学びなど、今の時代に必要なる力をより効果的に習得できる環境が整いました。

ICT支援員を配置

タブレット端末配備に合わせ、令和3年度はICT支援員を5人(4校に1人)配置。教育現場の情報化の推進を実務的に支援します。



給食費徴収の負担軽減



小中学校の給食費について、令和4年度からの公会計化(市が管理)へ向け準備を進めています。公会計化により、学校ごとに異なっていた徴収方法を口座振替へ統一し、保護者の皆さんの利便性向上と先生方の負担軽減に繋がります。



理科教育設備整備



特別教室にもエアコン入っています!

令和元年度から今年度にかけて、全小中学校の理科室設備の更新を実施しています。理科教育で使用する観察・実験機器を充実させることで、子どもたちの自然や科学技術に対する関心や探究心を深め、科学的な思考力・判断力・表現力の育成に繋がります。

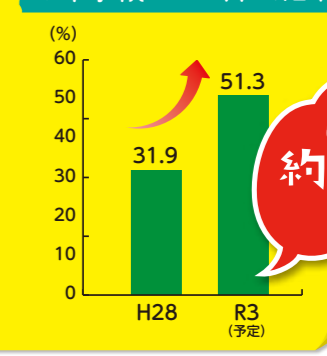
小中学校のトイレの洋式化

令和2年度県平均を上回りました!



令和元年度から進めている小中学校のトイレの洋式化。今年度は小学校10基、中学校10基を洋式化する予定です。これにより、玉名市内小中学校のトイレの洋式化率は51.3%となる見込みです。

小中学校のトイレ洋式化率



約20% UP!

健康・福祉

スマイルエイジングタウンを目指して

笑顔で幸せに歳をとれるまち

乳がん検診の助成年齢引き下げ

これまで40歳以上としていた乳がん検診の対象年齢を引き下げ、30歳から受診可能としました。乳がんは、早期発見により適切な治療を行えば良好な経過が期待できますので、乳がんから身を守るためにも、定期的な検診をお勧めします。



対象年齢を「40歳以上」
⇒「30歳以上」へ！

オンライン講座の配信開始



第4回お母さん教室



令和2年5月、公民館講座を家に居ながら視聴できるように、講座のオンライン配信を始めました。オンライン講座は、受講者のタイミングで視聴できるメリットがあります。また、今年の2月には、公民館の公式YouTubeチャンネルも開設。家事の合間など、好きな時間に、ぜひご覧ください。

講座のオンライン配信は、
動画配信中 キラリかがやけたまなQ で検索！
公民館の公式YouTubeチャンネルも要Check！

介護予防・健康増進



いくつになっても元気に暮らしていただけるように、「通いの場」など介護予防活動を推進しています。令和2年度には、新たな取組として「集いの場」を始めました。地域の顔なじみで気軽に「集いの場」に参加して筋力向上のための体操を行うなど、自然と介護予防につながるような仕組みづくりを継続していきます。



「通いの場」など
市内約200カ所で実施中！

県内初

生活困窮者就労支援の協定締結



玉名市では松本学園さんと連携して、生活困窮者の自立を支援するための就労準備支援事業を実施しています。その取組の中で、市内事業者の方々にもご協力いただき、実際の就労現場での実体験を通して就労に必要な能力や技法、知識を習得できる就労体験の場の確保に力を入れています。

令和2年度に市・松本学園さんと
三者協定を結んだ市内事業者さん

- 令和2年6月：株式会社マルエイさん
- 令和2年11月：特別養護老人ホーム有明ホームさん

乗合タクシー エリア拡大中



これまで、日常生活における移動手段を確保することを目的に、公共交通の利用が困難な地域へ導入してきた乗合タクシー。

今年度は、いだてんタクシーの運行エリアの拡大へ向けた準備を進めるとともに、伊倉、八嘉、天水地域への新たな公共交通の導入の検討などに取り組む予定です。

令和3年度取組内容

- 令和4年4月からのいだてんタクシーの玉陵中学校区全域へのエリア拡大へ向けた準備
- 玉南中・天水中学校区への新たな公共交通の導入の検討・準備

まちづくりの充実



産業

観光

魅力的で持続可能な産業づくり 玉名の魅力を磨き上げ、全国へ発信!

先進技術導入を支援しています



労働力不足やコロナ禍による需要の変化などにより営農の継続が課題となっている中、その対策への支援として、経営力の強化のために自走式草刈機やハウス内環境制御装置などの先進技術の導入や、大型特殊免許やドローン技能認定を取得するための経費の一部を補助する制度を創設し、令和2年度は64件の補助を実施しました。

乗用型の自走式草刈機!



漁港のしゅんせつ



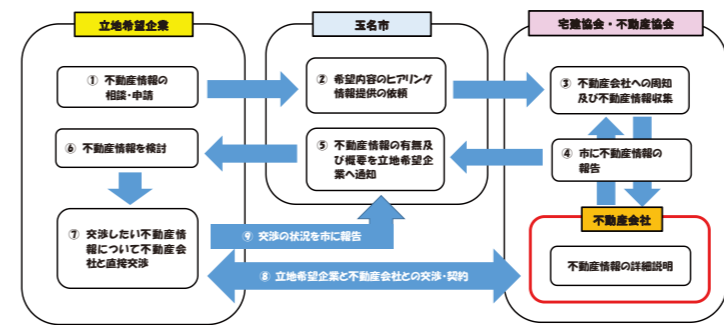
クラムシェルによる土砂撤去!

水産物の安定供給のためには、漁業活動に必要な漁港施設の機能を将来にわたって健全に保持していくことが必要です。そのための取組として、漁港内に堆積した土砂を取り除く「しゅんせつ工事」を実施しています。今年度は、玉名漁港(大浜地区)を実施します。

企業立地マッチング支援制度創設



令和2年10月、「玉名市企業立地マッチング支援制度」を創設しました。宅建協会及び不動産協会と連携し、玉名への進出を希望する企業へ市内の土地建物の情報を提供することにより、玉名への企業立地の促進に繋がります。



玉名クオリティ認証

安全安心な観光地を確立

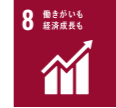


令和2年8月に開始した、衛生状態が整った宿泊施設を認証する玉名クオリティ認証制度。市内全ての宿泊施設が認証を取得し、感染防止対策を徹底する中、業界ガイドラインの一部改訂に合わせ、今年はチェック項目を1項目追加し、衛生状態を再チェック。宿泊施設と協力して、安全安心な観光地「玉名」を確立します。

（玉名クオリティ認証制度とは）
市独自の衛生状態を確認するチェックリストを設け、基準を満たした施設に「玉名クオリティ認証」を交付したことにより、衛生状態が整った観光地をアピール。

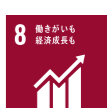


たまな未来創造塾を開講します



今年度、新たな事業に取り組む意欲のある市内の若手経営者などを対象に、「たまな未来創造塾」を開講します。大学や金融機関と連携し、ウィズコロナに対応した新たなビジネスプランの立案・実践に取り組み、次世代の担い手育成を目指します。

ハイクオリティラベル 旅行商品造成事業



ウィズコロナ時代の新たな観光商品として、ハイクオリティラベル旅行商品の開発に取り組んでいます。玉名の観光素材の磨き上げを行い、特別感のある満足度の高いツアーを提供するなど、魅力的な滞在コンテンツによる誘客促進を目指します。



スポーツを通じたまちづくり 人も地域もスポーツで元気に!

ランナーの聖地へ。マラニックコース完成



マラニックはコロナにも対応!

マラソン解説でお馴染みの金哲彦さん監修のもと、金栗さんゆかりの地をめぐるマラニックコースが完成しました。「住家を訪ねるコース」と「街めぐりコース」の2つのコースがあり、距離はともに約10キロです。日頃のランニングコースとして市民の皆さんに楽しんでいただきながら、玉名の良さを体感できる健康アクティビティとして、誘客にも繋げていきます。

コース上の各スポットに設置された案内看板のQRコードをスマホで読み取ると、元オリンピックマラソンランナーの増田明美さんのナレーションで各ポイントの紹介動画が流れます。そちらもぜひ、お楽しみください!

アンゴラとの交流

令和元年7月以降、ホストタウンとしてアンゴラ共和国との交流を続けてきました。特に子どもたちにとっては異文化理解やグローバル社会への関心を持つ良い機会となっており、ホストタウンとしての取組が、これからの時代を生きる玉名のグローバル人材の育成にも繋がっています。

ランニングイベントで全国3位に!

令和2年10月に開催された日本一走るまちを目指したランニングイベント「アウトバーラ〜ン&ウォーク2020」において、市民の皆さんが走った距離が見事**全国3位**となりました。

防災 災害に強いまちづくりを進めます!

境川周辺の冠水対策



これからの冠水対策を進めていきます!

近年の豪雨により冠水被害が多発している境川流域の春出・中尾地区。その冠水被害を軽減・解消するため、この地域の境川へ流れ込む排水路の整備を今年度から行っています。地域住民の方々の不安要素を解消し、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

安心な生活のために

玉名市では、安心な生活のために、ご自宅の耐震化の支援や地震等により倒壊の危険性があるブロック塀を撤去する費用の支援などを行っています。

令和2年度は主に避難路沿いのブロック塀の撤去や、住宅の耐震化を支援しました。

玉名市総合防災

安心メール登録のお願い

皆さん、「玉名市安心メール」の登録はお済みでしょうか? 安心メールでは、火災情報や防災情報など、玉名の情報をいち早くお知らせしています。災害が多発する近年、避難の判断など、身を守るためには最新の情報をキャッチすることが重要です。登録がお済みでない方は、ぜひ登録をお願いします。

玉名市 安心メール
tma@123123.tv

玉名市 防災無線電話応答サービス
0968-73-3400

●玉名市全域にかから放送を対準とし、通話料は自己負担です。放送開始は、電話回線が込み合うことがあります。つながらない場合は、しばらくしてからお電話ください。
●放送内容の保存期間は24時間です。24時間経過後は自動的に削除されますのでご注意ください。

空き家等対策を推進

増加する空家対策として、管理不全な老朽危険空家等に対して除却に係る費用の一部を補助しています。また、令和2年度に特定空家の認定基準を定め、特定空家に認定した物件(所有者)に対し助言・指導を行いました。

都市基盤 安全・安心なまち 機能的で快適なまちへ

くまもと県北病院 開院



診療科目25→30へ最新機器も導入してます!

今年3月に開院した「くまもと県北病院」は、診療科目も増え、最新の医療技術の導入や健診事業の充実などにより、質の高いサービスを提供しています。また、5月には九州看護福祉大学と包括的連携協力協定を締結。玉名の強みを生かしながら、地域医療の拠点として、市民の皆さんの命と健康を守っていきます。

有明広域消防本部 玉名消防署 開業



防災学習センターも新設!

今年3月、市民の安心と安全を守る拠点として、有明消防本部の新庁舎が完成しました。この新庁舎は、耐震性は基準の1.5倍、敷地面積もこれまでの約5倍となっていて、大きな地震の際にも防災拠点としての機能を果たすことができます。また、体験型の防災学習センターも新設されていますので、ぜひ一度足を運んでみてください。

岱明玉名線 開通



16国道208号と国道501号が繋がりました!

今年5月に岱明玉名線の開通が催され、全線開通いたしました。この道路は、16国道208号と国道501号を結ぶアクセス道路として物流・交流の活性化や災害時の避難・輸送路としての活躍が期待されています。

岱明防災コミュニティセンターへ建替え

老朽化により建替えの検討を進めていた岱明町公民館。この度、現在と同じ敷地に、防災機能を備えた「岱明防災コミュニティセンター」として生まれ変わることになりました。災害時の避難所としても活躍する予定であり、早急な建替えを進めます。

都市整備 良質な暮らしができるまちを目指して

新玉名駅周辺整備

新玉名駅周辺整備方針を策定(令和2年8月)して以降、地権者の方々や進出を希望する企業、県等の関係機関との協議を進めています。10年、20年後の本市の将来を見据え、県北病院や玉陵小中学校など、この地域の強みを生かしながら「良質な暮らしができるまち」を目指して取り組んでいきます。



行政運営の進化

プロジェクト ● 地域内連携の強化

持続可能なまちへ

玉名ファン拡大中!

ふるさと納税躍進中!



さとふる

ふるさと納税

ふるさと納税

ふるさと納税

ふるさと納税

ふるさと納税

ふるさと納税

玉名市を想う多くの方々からご寄付をいただき、令和2年度のふるさと納税の寄付額は約8億8千万円となりました。これは平成29年度の約30倍。地元事業者の販路拡大とビジネス拡大を念頭に、中間事業者とともに積極的な開拓を行った結果、寄付額が大幅に伸びるとともに、多くの方々から玉名市自慢の返礼品を数多く届けることができました。

ふるさと納税額の推移



ふるさと納税 大幅UP!
約8億8千万円!

プロジェクト ● 広域連携の強化

玉名圏域定住自立圏の取組

近隣自治体としっかりと連携し、新たなサービスを提供します

電子図書館のスタート



いつでも・どこでも・かんたんに

- おうちにいながら本を借りられる
- 文字サイズの変更や、音声読み上げ機能のタイトルもあるよ
- おうちで人と接することなく借りられる
- 図書館が休館していても24時間365日借りられる
- 借りたい本があるかすぐ分かる
- 自動で返却されるので返し忘れがないよ
- 破いたり汚したり失くしたりの心配なし
- 通勤・通学中の電車やバスの中でも読める

今年7月、近隣3町と共同運営の電子図書館を開館しました。玉名に在住、または在学・在勤の方なら24時間、いつでもどこからでも電子書籍を借りることができます。また、音声読み上げ機能や読み聞かせに対応した絵本もありますので、この電子図書館を利用して、読書を楽しんでください。

“いつも図書館といっしょ”

「たまな圏域電子図書館」

<https://www.d-library.jp/tamaken>

玉名市と玉東町、南関町、和水町で共同運営。定住自立圏内5市町の共同運営による電子図書館は全国3例目!

全国初

共同で条例制定、消費生活センター広域拡大



近隣の町と連携して取り組んでいます!

令和2年6月、全国初となる自治体間共同での「消費生活安心条例」を制定し、同年10月には、「訪問販売お断りステッカー」を全戸配布しました。また、令和3年3月には、玉名圏域定住自立圏で「消費生活に関する協定書」を結び、消費生活センターの広域連携実施。消費者被害(詐欺、悪徳商法等)の更なる未然防止・早期解決に力強く取り組みます。

公衆無線LAN整備



今年7月、市内9箇所の公共施設に公衆無線LAN(くまもとフリーWi-Fi)を設置しました。今年度内に、さらに3箇所の設置を予定しています。公衆無線LANの導入により、公共施設を利用される市民の皆さんの利便性の向上に加えて、誘客促進や、災害発生時などの防災面での効果も期待できます。

プロジェクト ● 市民のための行財政運営 ● 地域内連携の強化 ● 広域連携の強化

新たな時代へチャレンジ

将来を見据えた施策を推進!

玉名方言番付 大好評!

大好評!



「定住人口」でもなく、「交流人口」でもない、地域と多様に関わる「関係人口」。この関係人口増加のためのツールとして、玉名方言番付を作成しました。方言も玉名の魅力。たくさんの方の魅力を生かしながら、いろんな形で玉名に関わってもらえる方を増やし、地域課題の解決や地域活性化に繋がります。

玉名未来づくり研究所



玉名の未来を考えます!

「玉名に住んでみたい、住み続けたい、私たちが帰ってきたい玉名を創る」を合言葉に、高校生以上39歳以下の若者が集まり、玉名のまちがワクワクする方策を考える「玉名未来づくり研究所」を開設しました。若者とともに未来を描き、若者の声と行動力を玉名の未来づくりに生かします。

旧市役所跡地の急傾斜を解消します



今年度、旧市役所跡地の急傾斜地の解消に取り組みます。急傾斜地崩壊危険区域および土砂災害特別警戒区域を解消し、災害の発生を予防するとともに、今後の効果的な跡地利用に繋がります。

課題解決へドコモと連携



多様化する地域課題に対応し、持続可能なまちを創っていくために、NTTドコモと連携してデータに基づく現状把握やエビデンス(証拠)に基づく政策立案に取り組んでいます。AIやIoTといった最新技術や民間の知恵を活用して、効果的に各取組を進めていきます。

「市民と市長のWeb会議」の開催



令和2年度から、Web会議システムを利用し、市長が直接市民の皆さんと意見交換を行う「市民と市長のWeb会議」を始めました。このWeb会議を通して、市民の皆さんと行政の相互理解を深め、協働のまちづくりを積極的に進めたいと考えています。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしています。

学校跡地の活用(三ツ川・小田)



民間事業者の活用スタート!

玉陵校区の旧三ツ川小学校跡地と旧小田小学校跡地について、民間事業者による活用がスタートしました。それぞれに民間事業者のノウハウが生かされており、そこに集う方々には、多くの笑顔が見られています。新たな地域活性化の拠点として、今後も笑顔が絶えない場所になることを期待しています。

乗り越えよう、 みんなで。

✓ 希望の光 ワクチン接種

玉名郡市医師会や薬剤師会、くまもと県北病院など医療関係者の皆さんにご協力いただき、市民の皆さんの安心のため一日でも早く接種できるよう、一丸となって取り組んでいます。



集団接種の様子

コロナの先へ
向かってー！

✓ これまでのコロナ 対策・支援策まとめ

事業者を守る経済対策

- 飲食店への特別支援事業
- 宿泊施設への特別支援事業
- 事業継続支援事業
- 中小事業者への緊急支援事業
- 金融円滑化特別金利子補給事業
- 中小・小規模事業者への家賃補助
- タクシー事業者の感染防止対策支援
- 緊急支援資金利子補給金・保証料助成金（農林漁業者向け）
- 持続化給付金支援事業
- テイクアウト・デリバリーPR支援事業
- 飲食店等感染防止対策事業
- 写真屋さんと連携したマイナンバーカード申請手続等支援事業

ウィズコロナの取組

- 避難者用パーテーションを準備
- 非接触型体温計・サーマルカメラ導入
- 小中学校の感染対策のための備品購入
- 電子図書館の運営スタート
- WEB 会議環境整備 など

お得なクーポン券 発行



観光需要喚起策(宿泊クーポン券)



お得な商品券の販売



市民限定！
飲食・宿泊等クーポン券



農産物等直売所で使用可能な
クーポン券の発行

ご意見をお待ち
しています。

市政や広報たまな特別号に関するご意見、ご質問を受け付けています。ご意見等ございましたら、以下のメールアドレスへメールをいただくか、封書で秘書課宛にお送りください。いただいたご意見等につきましては、市ホームページ上で動画による回答も検討しています。
※全てのご意見等にご回答するものではありません。